

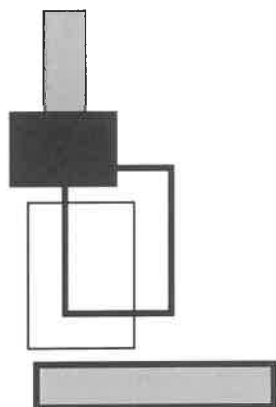


Matsuyama
Business
College



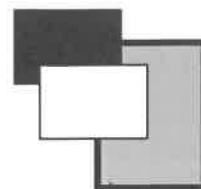
松山デザイナー専門学校

ファッションビジネス学科



2023 年度

シラバス



スタイリストコース 1 年

名前

※一年間、各自保管すること

令和5年度

服飾家政専門課程 ファッションビジネス学科 スタイリストコース

必修/ 選択		区分	科目名	種別	担当者	スタイリストコース 1年		
						前期	後期	単位
必修	学科 共通	色彩学Ⅰ（全学科共通）	講義	青田	30		2	
		ファッション販売理論Ⅰ	講義	地紙	60		4	
		ファッション販売実技Ⅰ	実習	越智	30		1	
		西洋服飾史（全学科共通）	講義	地紙	30		2	
		デジタル演習Ⅰ（全学科共通）	実習	四田	30		1	
		カメラ演習Ⅰ	実習	光藤	60		2	
		色彩学Ⅱ（全学科共通）	講義	青田		30	2	
		ファッション販売理論Ⅱ	講義	地紙		60	4	
		ファッション販売実技Ⅱ	実習	越智		60	2	
		デジタル演習Ⅱ（全学科共通）	実習	野田		30	1	
		カメラ演習Ⅱ	実習	玉本		30	1	
		業界研究	講義	特別講師		60	4	
	ス タ イ リ ス ト コ ー ス	スタイリスト演習Ⅰ	実習	稲美・溪	60		2	
		ヘアメイク実技・理論Ⅰ	実習	地紙	60		2	
		ネイル実技・理論Ⅰ	実習	水本	60		2	
		スタイリスト演習Ⅱ	実習	稲美・溪		60	2	
		スタイリスト商品制作Ⅰ	実習	桑原		30	1	
		ヘアメイク実技・理論Ⅱ	実習	地紙		60	2	
		ネイル実技・理論Ⅱ	実習	水本		60	2	
必修科目 合計					420	480	39	
					900		39	
年間合計時間/単位数					900		39	

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	色彩学Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙			時間割	木曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格できる知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	概論－色彩の働き		生活における色彩、ファッション における色彩				
3	色彩の体系		色の三属性				
4～5	〃		ヒュー&トーン				
6～7	色彩理論－基礎		色の成り立ち、光と色、三原色と混色				
8	〃		視覚と色				
9～10	〃		色彩と心理				
11～12	色彩の技術		配色の基礎				
13～14	〃		色彩構成の基礎				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅰ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集：日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考							

授業科目	ファッション販売理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	地紙 友紀			時間割	金曜 3・4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	的確に個々のお客様のニーズを察知し、持っている専門的な知識・技術・情報を提供し、お店のコンセプトに基づく商品のコーディネートを含め、適切に商品を奨め、販売のできる「販売スタッフ」の人材育成。						
学習到達 目標	ファッション販売能力検定3級合格できる知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ファッション販売知識		ファッションとは、ファッション販売について				
3～4			ファッション小売業の業種・業態、お客様にとって店とは				
5～6			お客様について、ライフスタイルショップの販売知識				
7～8	ファッション販売技術		販売スタッフの基本マナー、購買心理の理解				
9～10			買い物の仕方、接客の基本とコンサルティングセールス				
11～12			包装、贈答のマナー				
13～14	商品知識		アイテムの知識				
15～16			インナーウェアの知識、服飾雑貨				
17～18			素材の種類と加工				
19～20			シルエットの知識、衣服の構成とディテール				
21～22			柄の種類と特徴、色彩と配色の知識				
23～24	売り場づくり		サイズの知識、商品の品質管理、副資材の種類				
25～26			店舗の環境づくり				
27～28			マーチャндаイズプレゼンテーション				
29～30	修了テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション販売3: 日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、ノート20%、修了テスト60%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション販売能力検定3級 2023年12月2日(土)		
備考	各自ルーズリーフを準備すること。						

授業科目	ファッション販売実技Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	越智 志のぶ	時間割	水曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	店舗スタッフとして必要な知識、技術の習得。				
学習到達 目標	現場で使える基礎知識を身に付ける。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	基礎知識	売上ツリー、接客8大用語			
3～5	接客基礎	購買心理8段階、5W1H、挨拶、声出し			
6～7	接客基礎	共感・褒め、不安解消、ポジショニング、動的待機			
8～11	アプローチ	MDAに関する基礎、ニーズ確認			
12～13	VMDの基礎	おたたみ、マネキン着せ替え			
14	ディスカッション	アパレルに関して			
15	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具					
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	ノート20%、小テスト20%、ロープレ30%、修了テスト30%で評価する。				
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合がある。	検定試験の 概要			
備考	1年間続けて使えるノートなどを準備すること。				

授業科目	西洋服飾史			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	地紙 友紀			時間割	木曜 1限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどの服飾文化を通して、流行の変遷やトレンドを読み解く力を身につける。						
学習到達 目標	服飾の歴史を知り、これからのデザイン発想や販売・スタイリングに役立つ知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	服飾史概論	衣服とは、身近なシャツを解体し服の構造を知る					
3	古代エジプト・古代ギリ シャ・ローマ	古代ギリシャ、古代ローマの服飾について					
4	古代ゲルマン・中世ヨー ロッパ	ビザンティン、ロマネスク、ゴシックの服飾について					
5～6	16世紀～17世紀	ルネサンス、バロック時代、ロココ時代の服飾について					
7	17世紀～19世紀	新古典主義、クリノリン、パッスル、S字シルエットなどの服飾につい て					
8	19世紀～近代	現代における洋服の変遷や代表的なデザイナーを知る					
9	〃	シャネル・ディオール					
10	ブランド調査レポート	それぞれブランドを選択し、歴史やルーツを辿る					
11	ブランド発表	作成したレポートをもとに、発表(1人5分)					
12	1960～1970年台	戦後のファッション～ヒッピースタイル					
13	1980～1990年台	バブル経済～ストリートファッション					
14	2000～2010年台	現代のトレンド					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	配布プリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート50%、修了テスト50%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	デジタル演習Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	四田 素子			時間割	月曜 4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な「Microsoft Word」「Microsoft Excel」「Microsoft PowerPoint」の基本操作を学習する。						
学習到達 目標	Microsoft Word, Excel, PowerPointの操作スキルを習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①	授業科目のテーマと目的、Wordの基本操作を学ぶ					
2	Word ②	Wordで基本的な文書を作成する					
3	Word ③	画像や図形を活用した文書を作成する					
4	Word ④	表を活用した文書を作成する					
5	Word 演習	Wordの復習として演習課題を解く					
6	PowerPoint ①	PowerPointで簡単なプレゼンテーションを作成する					
7	PowerPoint ②	図形や画像を挿入し編集する SmartArtやグラフを活用する					
8	PowerPoint ③	スライドショーを実行する 配布資料を作成する					
9	PowerPoint 演習	PowerPointの復習として演習課題を解く					
10	Excel ①	Excelの基本操作を学ぶ					
11	Excel ②	表の体裁を整える 基本の関数を使う					
12	Excel ③	いろいろな関数を利用する					
13	Excel ④	グラフを作成する データベース機能を利用する					
14	Excel 演習	Excelの復習として演習課題を解く					
15	まとめ	WordとExcelを連携した書類を作成する					
使用テキスト 教材・教具	今すぐ使えるかんたんOffice for Mac[Office 2021/Microsoft 365 両対応]:技術評論社 ISBN: 9784297127916 USBメモリ32GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	カメラ演習Ⅰ	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	光藤 知泉	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	撮影に関する基礎知識とカメラ技術について学び、ファッションと写真の関わり方を理解する。また、ファッション業界に関わるSNSの効果的な写真の活用法を実践し、活用していく。				
学習到達 目標	SNS・ネット販売の運用。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 雑誌や広告などのカメラマン経験がある講師がその経験を活かし、撮影に関するの基礎知識や技術、編集や印刷工程との連携などを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～4	カメラ概論	カメラ演習とは 機材の名称、DPI(解像度)の違い、光、背景、色の効果、印刷工程			
5～6	カメラテクニック別	実習1 人物撮影(ライティング無での撮影)～画像補正と加工			
7～8		実習2 物撮り(ライティング無での撮影)～画像補正と加工			
9～10		実習3 課題研究(撮影～画像現像まで)オリジナルと現像後画像の提出			
11～12		実習4 ライティング			
13	目的別	実習5 ネット販売用撮影について			
14～16		実習6 商品撮影・課題研究(ネット販売用画像とページの作成)			
17～20	シーン別	実習7 ファッション雑誌:リサーチ、プレゼン			
		ファッション雑誌:セッティング			
		ファッション雑誌:ライティング、撮影			
21～24	ポスター	実習8 課題研究(グループ制作)ポスター制作			
25～26	テーマ別	実習9 SNS			
27～28		SNS課題撮影			
29～30		実習10 作品集作成			
使用テキスト 教材・教具	スマホ、iPad、カメラ(一眼・デジカメ)、リングライト、撮影ボックスなど				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題40%、作品60%の比率で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	色彩学Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	青田 梨沙			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン制作、接客において複数提案できる色彩スキルを身につける。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション産業と色彩		ファッション産業における色彩の役割				
2	〃		企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通段階の色彩				
3	〃		染色について				
4	〃		ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)				
5	〃		照明の色と種類				
6～12	検定対策		過去問題集から模擬テスト、解答				
13～14	骨格診断		骨格診断の概要、骨格診断のファッションへの応用				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅰ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集：日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2024年1月13日(土)		
備考							

授業科目	ファッション販売理論Ⅱ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	地紙 友紀		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	的確に個々のお客様のニーズを察知し、持っている専門的な知識・技術・情報を提供し、お店のコンセプトに基づく商品のコーディネートを含め、適切に商品を奨め、販売のできる「販売スタッフ」の人材育成。					
学習到達 目標	ファッション販売能力検定3級合格。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～4	売場づくり	店舗の環境づくり マーチャンダイズプレゼンテーション				
5～13	マーケティング	マーケティングの基礎知識 店舗の強みと弱み、ターゲットマーケティング 情報収集の目的と必要性				
14	販売スタッフの業務	商品管理、係数知識				
15～26	練習問題	練習問題解答・解説				
27～28	ファッション販売知識	販売スタッフへの期待、販売スタッフの役割				
29～30		販売に必要な情報、顧客づくりの重要性と管理術				
使用テキスト 教材・教具	ファッション販売3: 日本ファッション教育振興協会					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題30%、模擬テスト30%、検定40%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要	ファッション販売能力検定3級 2023年12月2日(土)		
備考	各自ノートを準備すること。					

授業科目	ファッション販売実技Ⅱ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	越智 志のぶ		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	店舗スタッフとして必要な知識、技術の習得。					
学習到達 目標	現場で使える基礎知識を身に付ける。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	販売基礎実技		マネキンの着せ替え、たたみテスト			
2～5	トレンド調査		トレンド調査、発表			
6～8	PDCA		PDCAについての基礎知識			
9～10	タイプ別診断		自身のタイプを知る			
11	自己分析		自分自身を見つめなおし課題を発見する			
12	目標設定		課題解決の道筋を立て、他者に開示			
13～17	接客とは		接客とは何か後期授業で改めて振り返る			
18	テスト		中間テスト			
19～21	3C分析		3C分析について、調査、発表			
22～24	接客実践		接客ロープレ			
25	ディスカッション		グループごとにディスカッション			
26～29	トレンド調査		トレンド調査、発表			
30	テスト		修了テスト			
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	ノート10%、ロープレ30%、プレゼン30%、修了テスト30%で評価する。					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要		
備考	1年間続けて使えるノートなどを準備すること。					

授業科目	デジタル演習Ⅱ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	Adobe Illustrator、Photoshopを中心に基本操作から応用までのテクニックを修得できクリエイション デザインの幅を広げることが目標。				
学習到達 目標	ハンガーイラスト、スタイル画をPCで描ける。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1～2	Illustrator	直線ツール、曲線ツールの使い方			
3～4	〃	キャラクターを使用してツールの使い方を応用			
5～6	Photoshop	切り抜き、クリッピングマスクを使用しマガジンを作成			
7～8	Illustrator・Photoshop	Photoshopでの着色方法、Illustratorでハンガーイラスト の作成、			
9～10	Illustrator・Photoshop	ハンガーイラスト の作成、リフレクトツール、パスの連結 デザイン画をペン入れしスキャン後Photoshopで着色			
11～12	〃	Illustrator、Photoshopを使用しデザインマップを作成			
13～14	〃	マップからのデザイン発表			
15	修了テスト	マガジン(Photoshop切り貼り) ハンガーイラスト (Illustratorペンツール、リフレクトツール) デザイン画着色 (Photoshop着色)			
使用テキスト 教材・教具	プリント配布				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考					

授業科目	カメラ演習Ⅱ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	玉本 慎平		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	撮影に関するカメラ技術と感性について学び、ファッションと写真の関わり方を理解する。実践的な授業を繰り返し、ファッション業界で通じる被写体の捉え方など多角的な撮影テクニックを学ぶ。					
学習到達 目標	一眼カメラで作品を撮る。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 現役カメラマンによる実践的な指導をする。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～3	実習1	カメラ感性について、機材の扱い方、実践				
4～6	実習2	テーマ設定、モデル				
7～9	実習3	テーマ設定、モデル				
10～11	実習4	テーマ設定、モデル				
12～15	実習5	作品集				
使用テキスト 教材・教具	カメラ(一眼)					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要			
備考						

授業科目	業界研究			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	特別講師			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	各分野の第一線で活躍されている講師による特別授業。専門学校の授業が実社会でどのように結びついているのかなど、知識だけではなく多方面から取り組む授業を実施。						
学習到達 目標	主体性や、ファッションに対する創造性・興味・関心・意欲を向上させる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 各分野の第一線で活躍されている講師陣による特別授業。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	舞台衣装		特別講義 1				
3～4	テキスタイル		特別講義 2				
5～6	ショップマスター		特別講義 3				
7～8	スタイリスト		特別講義 4				
9～10	デザイン		特別講義 5				
11～12	ポートフォリオ		特別講義 6				
13～14	コスチューム		特別講義 7				
15～16	メンズ		特別講義 8				
17～18	レディース		特別講義 9				
19～20	カメラ、映像		特別講義 10				
21～22	ライティング		特別講義 11				
23～24	スタイリスト		特別講義 12				
25～26	ブランド		特別講義 13				
27～28	経営		特別講義 14				
29～30	就職、キャリア		特別講義 15				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	スタイリスト演習Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃、湊 裕子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	スタイリストアシスタントとして、現場で必要な知識を情報を学ぶ。						
学習到達 目標	現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、スタイリングに関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	スタイリスト概論Ⅰ	スタイリストの仕事について					稲美
3～4	コーディネート	店舗にて実習					稲美
5～6							
7～8							
9～10	実習	スタイリストバッグ・アイロンがけ					湊
11～12		底張り練習(アイロンがけ)					湊
13～14	コーディネート	春夏コーデ					湊
15～16		スカートコーデ					湊
17～18		パンツコーデ					湊
19～20		カラー別スタイリング					湊
21～22	復習	アイロンがけ底張り練習					湊
23～24	コーディネート	テーマ別スタイリング					湊
25～26		ブランド別スタイリング					湊
27～28		統一感コーデ					湊
29～30	修了テスト	テスト(アイロンがけ、底張り)					湊
使用テキスト 教材・教具	スチームアイロン、ビニールテープ(底ばり)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品60%、修了テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	地紙 友紀			時間割	火曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する。基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 美容師歴10年・美容教員8年の経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	スキンケア理論、メイクアップ理論		道具の説明、メイクアップの理論について説明				
2	クレンジング		ポイントクレンジング～フルクレンジング、整肌について				
3	ベースメイク		ファンデーション、コンシーラ、パウダーについて				
4	眉・凸凹について		眉の描き方、ハイライト、シャドーについて				
5～10	ポイントメイク		アイメイク、チーク、リップなどのポイントメイク基礎				
11～15	ヘア基礎		ブロッキング、コーミング、ピン打ち基礎				
16～19	アップ基礎		逆毛理論				
20～23	カールの作り方		コテの使いかたなど				
24～27	編みこみ		いろいろなパターンの編みこみ				
28～30	ヘアメイク作品づくり		基礎を復習しながらの作品制作				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅰ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)		時間割	月曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年	
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級、JNAジェルネイル技能検定試験初級の取得を目指す。					
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験3級・JNAジェルネイル技能検定試験 初級取得。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	プレマニキュア、カットスタイル	テーブルセッティング、用具用材、カットスタイルについて、理論、実技				
3～4	爪の構造と働き、ネイルケア	理論、ネイルケア(ファイリング・カラーリング・ポリッシュオフ)				
5～6	化粧品学、ネイルケア	理論、ネイルケア(キューティクルクリーン)				
7～8	消毒法、ネイルケア	理論・ネイルケア(相モデル)				
9～10	歴史、技術体系、ネイルケア	理論、ネイルケア(相モデル)				
11～12	爪の病気とトラブル ネイルケア	理論、ネイルケア(相モデル)				
13～14	皮膚科学、生理解剖学 ネイルケア	理論、ネイルケア(相モデル)				
15～16	色彩理論、ネイルアート	理論、ネイルアート				
17～24	3級検定対策	ネイルケア、ネイルアート				
25～30	ジェルネイル	ジェルネイル理論、実技				
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック(NPO法人日本ネイリスト協会) ネイルケア用具用材、ジェルネイル用具用材					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、検定試験40%で評価する。					
履修上の 留意点		検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験3級:2023年7月16日(日) JNAジェルネイル技能検定初級:2023年10月受験予定			
備考						

授業科目	スタイリスト演習Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃、湊 裕子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	スタイリストアシスタントとして、現場に必要な知識や情報、また即戦力となる技術を学ぶ。						
学習到達 目標	現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、スタイリングに関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	衣装リース	プレスでの衣装リース方法					稲美
3～4	着せ込み	モデルへの着せこみ方法					稲美
5～6	コーディネート	秋冬コーデ					湊
7～8		テーマ別スタイリング					湊
9～10		〃					湊
11～12		メンズコーデ					湊
13～14		アクセサリーのスタイリング					湊
15～16		テーマ別スタイリング					湊
17～18		〃					湊
19～20		底張り練習モデル別スタイリング					湊
21～22		クリスマスコーデ					湊
23～24		セレモニースタイル					湊
25～26		テーマ別スタイリング					湊
27～28	実習	塩屋					
29	修了テスト	テスト(衣装リース・着せ込み)					
30	まとめ	1年間の振り返りと来年の抱負					稲美
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品60%、修了テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合があります。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	スタイリスト商品制作Ⅰ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	桑原 美知	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年
授業科目の テーマと目的	スタイリストとして必要なお直し術、リメイクを学ぶ。				
学習到達 目標	現場で通用するお直し術を習得する。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、お直し技術やリメイク法を指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	概論	スタイリストとしての洋裁技術について、洋裁道具			
2	手縫い	手縫い、返し縫い、まつり縫い、糸始末			
3～4	副資材	ボタン、スナップ、マジックテープ			
5	採寸	採寸			
6	ミシン講習	職業用ミシン、糸通し			
7	復習	復習			
8～9	スタイリストバック制作	各自スタイリストバック制作			
10	スタイリスト	スタイリストの1日密着			
11	お直し技術	撮影現場で主に使うお直し法			
12～15		シチュエーションごとに異なるお直し法を実践する			
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、スタイリストバック				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	ノート20%、課題20%、作品60%で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要			
備考	制作に関わる服・生地・糸・副資材は自己負担。各自ノートを準備する。				

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	地紙 友紀			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	美容師歴10年・美容教員8年の経験教員のもと、ヘア・メイク基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 美容師歴10年・美容教員8年の経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	テーマ別作品づくり	テーマを決めてメイクのみ相モデルで作品を作る					
6～10	テーマ別作品づくり	テーマを決めてヘアのみ相モデルで作品を作る					
11～15	テーマ別作品づくり	ヘアメイクトータルでの作品づくり					
16～18	ヘアアレンジ	アップスタイルのしっかりしたものを作る					
19～23	メイクアレンジ	ショー用のヘアメイク					
24～28	ショー用ヘアメイクアレン ジ	時間を決めて丁寧に作品を作る					
29～30	作品作り	進級にあたっての作品制作					
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)			時間割	月曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	スタイリストコース 1年		
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、プロレベルのネイル理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験2級の取得を目指す。						
学習到達 目標	JNAジェルネイル技能検定試験 初級・中級取得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ジェルネイル初級	実技・筆記試験対策					
3～4	検定試験	JNAジェルネイル技能検定試験 初級					
5～6	ジェルネイル	ジェルグラデーション					
7～8		ジェルフレンチ					
9～12		ジェルスカルプ					
13～22		ジェルネイル中級	実技・筆記試験対策(相モデルorハンド)				
23～28	ネイルケア、グラデーション、フレンチ、ジェルオフ、ジェルスカルプ						
29～30	検定試験	JNAジェルネイル技能検定試験 中級					
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック、ジェルネイル用具用材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、検定試験40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	JNAジェルネイル技能検定初級:2023年10月受験予定 JNAジェルネイル技能検定中級:2024年 1月受験予定		
備考	受験会場が高松の場合は、会場までの交通費を学校規定により後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。						